病院看護職による保健相談に関する調査

――ご協力のお願い――

各 位

1990年 1 月10日

社団法人 日本看護協会

今日では、人口の高齢化、医療の発達などにより、疾病や障害をかかえつつ、また、医療器具を装着したまま在宅療養する人々が増えています。本会では、これら慢性疾患患者の在宅療養を支えるために、看護職の行なう相談・指導が今後ますます重要になるため、社会保険診療報酬上での点数化が必要と考えております。

そこで、保険点数化を要望するための資料を得る目的で、看護職による保健相談・指導の内容や実施体制・条件等を調査することにいたしました。

看護職による保健相談は、病院の中で多様な形で行なわれておりますが、今回は、「慢性疾患患者への面接による個別相談・指導を主業務の1つとする部署を、通常の外来診療部門とは別に設けている」と思われる病院に調査協力をお願いいたしました。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようにお願い申し 上げます。

調査結果は、社会保険診療報酬上の点数化を厚生省等に要望する際に資料として活用するとともに、相談・指導業務や体制を検討する際の参考となるように報告書にまとめる予定です。報告書は統計的まとめが中心で、病院名は一切公表しませんので、貴病院にご迷惑をおかけするようなことはございません。

- ◎調査対象は、通常の外来診療部門とは別に設けられている部署で、看護職員が慢性疾患(妊娠中の疾患、 先天性疾患含む)患者の面接による個別相談・指導を主業務の1つとしている部署です。看護部に所属しているか否かを問いません。
- ◎ 記入者は、保健相談担当部署の看護責任者(責任者がいない場合には、看護職のどなたか)にお願いいたします。
- ◎ 返送は、同封の返信用封筒にて2月末日までにお願いいたします。切手を貼る必要はありません。
- ◎ 最終ページの間37~問39の相談・指導件数は、今年2月5日(月)から1週間の数をカウントしていただくようお願いいたします。

照 会 先 (紐日本看護協会 調査研究室 〒150 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話 03(400)8331

*お差し支えなければ、病院名、住所、電話番号をご記入ください。この調査の結果をまとめた概要をお送りいたします。 (報告書に病院名はだしません。)	しないで下さい
病 院 名	
住 所	5
まず、貴病院の概要についてお尋ねします。	
問1 病院の種類に○をつけてください。	
 総合病院 2 精神病院 3 結核・らい療養所 特例許可老人病院・特例許可外老人病院 リハビリテーションを主とする病院 療育を主とする病院 7 その他の病院 	6
問2 病院の設置主体に○をつけてください。	
1 国立(厚生省) 2 国立(文部省) 3 国立(その他) 4 自治体 5 日赤 6 済生会 7 厚生連 8 社会保険関係団体 9 学校法人 10 会社 11 医療法人・個人 12 生活協同組合 13 その他()	L <u>1</u> 8
問3 病院全体の許可病床数に○をつけてください。	
1 ~49床 2 50~99床 3 100~299床 4 300~499床 5 500~899床 6 900床以上	9
問4 病院のとっている基準看護に○をつけてください。該当するもの全てに○をつけてください。	
1 特3類2 特2類3 特1類4 1類5 2類6 3類7 老人特例1類8 老人特例2類9 基準看護はとっていない	14
問5 平均的な1日外来患者数 約 人	18
問6 昨年(度)の平均在院日数*	20
* 平均在院日数 = 年間在院患者延数 (年間新入院患者数+年間退院患者数)/2	
問7 昨年(度)の病床利用率* %	22
*年間病床利用率 = 1 日平均在院患者数/6月末病床数	1

費部署についてお尋ねいたします。	* この欄には記入 しないで下さい。
〈組織上の位置づけ〉	
問日 貴部署の正式な名称をご記入ください。 ()	23
問日 貴部署は、病院全体の組織図の上で正式に位置づいていますか。	24
□ 1 位置づいている。 □ 2 病院内では位置づいているが、本部・本社等の上部組織では正式に位置づけられていない。 3 看護部門の中で試行的に設けられている。 4 病院とは別組織の中に正式に位置づいている。 5 その他(具体的にご記入ください。)	26
問11 貴部署の看護職員が、院内にて、面接による個別相談・指導を始めたのはいつからですか。 昭和・平成 年から 〈職員〉	31
問12 貴部署に看護職の責任者(役職者)がいますか。 1 いる──→その職位を具体的にお書きください。 2 いない ()	35

問13 貴部署の職員数を職種別、所属別にご記入ください。

	当部署	に配置	他部署から派遣・兼務			
	正規	パート	外来	病 棟	その他	()
保健婦	Л	人	Л	,	٨	人
助 産 婦						
看護婦						
准看護婦						
ノーシャルワーカー						
医 師						
栄養士						
事務職員						
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
			/			
	•					
	隻婦でも保健婦	・助産婦免許を	を有している場	合は、保健好	帰または助産	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ		、時間割比例記				産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください	······································	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) も	ごさい。 イマーの人数は	、時間割比例記			······································	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください		産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください 	, ` .	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください 	7	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください 	7	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の: 	、時間割比例記		してください 	7	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の 37	、時間割比例記	†算により換算	してください 	7	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の 37	、時間割比例記	†算により換算	してください	7	産婦の覧に
E1:採用は看記 ご記入くた E2:パートタイ (例) 名	ごさい。 イマーの人数は 毎日半日勤務の 37	、時間割比例記	†算により換算	してください	7	産婦の覧に

(キャ!	ノア〉				* この欄には記入 しないで下さい。
	貴部署に専属配置され 責任者の年齢は別枠で		平均年齢を職種別にご記入くた	ごさい。看護	
1	看護職の責任者の年	P	歲		6
2	保健婦の平均年齢	平均	歳		8
3	助産婦の平均年齢	平均	_ 歳		10
4	看護婦の平均年齢	平均	_ 歳		12
5	准看護婦の平均年齢	平均	_ 歳		14
にこ *彩 *看	記入ください。 経験のない欄は 0 年とお	:書きください	と配属される前の経験年数を、 経験年数が1番長い方の経験		
1	当部署	华			
2					16
3	病院外来				18
4	病院の訪問看護(当語	部署以外)	年		20
5	診療所	华.			24
6	市町村	年			26
7	保健所	华			28
8	事業所	华			30
9	看護教育機関	——华			32
10	その他()	4E		34
問16 る条	看護職員が貴部署に配 :件がありますか。	属され、相談・指	導業務を担当するにあたって、	必要とされ	35
1	ある 2 特	にない			
	ーーー それは、どのようなこ	とですか。該当する	るもの <u>すべてに○</u> をつけてくた	ごさい。	
1	免許(具体的に)	
2	経験(具体的に)	40
3	研修(具体的に)	
4	本人の希望				
5	その他(具体的に)	
				:	45

貨部署の業務についてお尋ねします。	* この欄には記入 しないで下さい
業務全般〉	
問17 看護職員が患者・家族に対して行なっている活動 <u>すべてに○</u> をつけてください。 その中で主要な活動を3つまで選んで下覧にご記入ください。 また、今後特に充実していきたい活動を1つ選んで下覧にご記入ください。	
1 面接による個別相談・指導	
2 電話相談	
3 総合案内・受付カウンターでの受診相談	
4 訪問看護	
5 在宅療養に関わる保健・医療・福祉関係者との連絡調整	
6 集団指導・教育(糖尿病教室等)	54
7 患者会・家族会の開催・協力	
8 医療・看護・介護用品の貸与・販売・援助	
9 その他(具体的にご記入ください	57
主要な活動 1 2 3 今後特に充実していきたい活動	58 61 64 67 70
3,	
16	
	! •

〈連絡・	調整〉	* この欄には記 しないで下さ
職種	貴部署が、患者の療養生活援助に関連して、依頼・照会に応じたり、連絡調整する や機関に○をつけてください。 の中で、文書による依頼・照会があるものに◎をつけてください。	4
〈院内〉		
1	主治医	
2	医師(主治医以外)	
3	外来看護職	
4	病棟看護職	
5	ソーシャルワーカー	
6	栄養士	
7	理学療法士・作業療法士	<u></u>
8	事務職	13
9	その他の職員(具体的に)	
〈院外〉		
10	他の病院の医師	
11	他の病院の看護職	
12	他の病院のソーシャルワーカー	
13	診療所の医師	
14	保健所の看護職	
15	市町村の看護職	
16	市町村の福祉担当者	
17	民生委員	23
18	特別養護老人ホーム・養護老人ホームの看護職	
19	患者の入所・通所している福祉施設(18以外)	
20	患者が通学している学校等の教員	
21	患者の職場の健康管理担当者等	
22	労働衛生機関	
23	農業協同組合の健康管理担当者	
24	医療器機・介護用品の業者	31
25	患者会・家族会	
26	ボランティア	
27	その他()	
	© 40 50 50	

	ここからは、面接による個別相談・指導についてお尋ねします。	* この欄には記入しないで下さい
〈依頼	・紹介者〉	
	面接による個別相談・指導は、誰の依頼・紹介で始まりますか。該当するもの <u>すべ</u> <u>○○</u> をつけてください。また、多い順に3位まで下覧にご記入ください。	
1	患者本人や家族が自分から申し出る。	
2	貴部署の看護職員の方からアプローチする。	
3	院内の主治医	
4	院内の関係医師(主治医以外)	
5	院内の外来看護職	
6	院内の病棟看護職	
7	院内のソーシャルワーカー	
8	院内の栄養士	68
9	院内の理学療法士・作業療法士	
10	院内の事務職	
11	院内のその他の職員 ()	
12	他院の医師	
13	他院の看護職	
14	他院のソーシャルワーカー	
15	保健所の看護職	
16	市町村の看護職	77
17	市町村の福祉担当者	
18	健(検)診・人間ドックのフォローとして	
19	その他(
	1位 2位 3位	
3	い順	
		5
		4
		6
		8
		10

〈相談・指導体制〉	* この欄には記.
問20 貴部署が面接による個別相談・指導に応じている時間帯は、1週間に何時間ぐらいですか。窓口を開いている時間をご記入ください。	
1週間に時間	12
問21 面接による個別相談・指導は1回にどの位の時間がかかりますか。最も多いケース についてお答えください。	
] 15分未満	13
2 15分~30分未満	
3 30分~1時間未満	
4 1 時間~ 2 時間未満	
5 2 時間以上	
問22 面接による個別相談・指導した患者について、相談・指導内容等の記録をとってい ますか。	
1 はい 2 いいえ	14
問23 相談・指導内容に関するカンファレンスを行なっていますか。	
】 原則として、定期的に行なっている。──────────月に 回	15
2 定期的ではないが、必要に応じて行なっている。────年に 回	
3 行なっていない。	18
問24 相談・指導業務に関するマニュアルを作成していますか。	20
─ 1 よくある相談・指導内容について作成している。	21
2 作成し始めた。	2,
3 独自のマニュアルは作成してないが、活用している資料・文献がある。	
4 作成してない。	
とういった内容について作成していますか。	22

〈患者の	り状態〉						* この欄には記入 しないで下さい。
該当	するもの	すべてに○	よる相談・指導 をつけてくださ で選んで下欄に	٥, ١١	は、どのような疾 ださい。	病の人でしたか。	
1	悪性新生	上物					
2	糖尿病						
3	血液及び	ど造血器の疾	患				
4	神経系質	推病・膠原病					
5	感覚器	失 患					
6	高血圧症	Ĕ					
7	心疾患						
8	脳血管療	失心					32
9	慢性呼吸	以不全					
10	喘息等の	の呼吸器疾患	(9を除く)				
11	肝疾患						
12	消化器系	系疾患(11を	除く)				
13	腎疾患						
14	泌尿生殖	直器疾患(13	を除く)				
15	妊娠、タ	}娩及び産褥	の合併症				
16	皮膚及び	ド皮下組織の	疾患				42
17	骨関節療	思					
18	先天性療	美心					43
19	老人性叛	ii呆					45
50	精神障害	肾・心身症(19を除く)				47
21	その他	()	49
s	い疾病	1位	2位	3 位			
3	v *7大7内		1-1		1		

— 101 —

問26 医療器具の装着・使用に関する相談・指導で、この1年間に対応した患者 <u>すべてに</u> ○をつけてください。 また、多い順に3つまで選んで下欄に記入してください。	* この欄には記入 しないで下さい。
1 在宅自己注射 2 在宅自己腹膜灌流 3 在宅酸素療法 4 在宅中心静脈栄養法 6 在宅自己導尿 (膀胱洗浄含む) 7 人工肛門 8 人工膀胱 9 気管カニューレ挿入 10 吸引 11 ネブライザー 12 ペースメーカー装着 13 人工透析 14 その他(63 65 67
多い順に 1位 2位 3位	69

〈相談「	内容)	* この欄には記み しないで下さい
問27	貴部署の看護職員が面接して行なう個別相談・指導の内容すべてに○をつけてくだ	6
さい	0	4
1	病気・病状についての説明	
2	病態観察のチェックポイントの説明	
3	検査・検査値結果の詳しい説明	
4	服薬指導・薬の疑問に対する対応	
5	食事療法	
6	運動療法	
7	医療器具の紹介、装着・使用方法、購入方法	
8	治療方針・方法について患者の疑問に関する相談	
9	複数科受診に伴う問題(薬の重複・指導内容の矛盾等)	14
10	医師に相談するほどではないが、気になる症状について	
11	緊急時の予測、対応、連絡方法	
12	患者の病院までの移送方法	
13	院内医師への相談の仕方	
14	院内看護職への相談の仕方	
15	老人性痴呆、情緒不安定、精神障害者等への接し方、受診のさせ方	
16	縟瘡処置・予防	
17	日常生活動作の維持・拡大	
18	基本的生活行動(食事、排泄、清潔、着衣、睡眠)の介護技術	24
19	ターミナルに向けて関係者の意見調整	
20	介護用品の紹介や工夫の仕方についての助言	
21	介護者・家族の健康管理	
22	介護者の精神衛生	
23	家族関係の調整	
24	ハイリスク妊産婦の生活指導	
25	病児・障害児の生活指導(哺乳、発達等に関連して)	
26	受診科、医師の選択、転医に関する相談	
27	開業医など院外の医師への相談の仕方	34
28	保健所・市町村の訪問指導についての情報提供・助言	35
29	福祉サービスについての情報提供・助言	
30	患者会・家族会についての情報提供・助言	
31	その他()	

問28 貴部署には、医療・看護	の内容に関する苦情が	が持ち込まれますか。	* この欄には しないで下。
1 はい 2 い	いえ		
* 苦情に適切に対応したため	、患者・家族の貴院へ	への信頼感が形成・回復さ	れることが
ありますか。			
<u>1 よくある 2 た</u>	まにある	3 ない	37
↓ 印象的な例があったら、具		, , _o	
			38
問29 相談・指導の依頼とは別	に、医療・福祉関係者	者から在宅療養に関連して	情報提供や
助言を求められることがあり	ますか。		
<u>1 ある</u> 2 な	43		
↓			39
どのような人からあります	か。また、よくある!	内容を下の [] にご記入	ください。
院内の外来医師		よくある相談内容	
2 院内の病棟医師		よくめる相談内合	
3 院内の外来看護職			
4 院内の病棟看護職			
5 院内のソーシャルワース			
6 院内の栄養士	earlie de la		
7 院内の理学療法士・作業	源法士		
8 院内の薬剤師 9 院内のその他の職員(
10 保健所・市町村の看護職			50
11 その他(` ,		
〈経済的側面〉	,		51
		Ne Merce Control of the Control of t	
問30 貴部署の看護職員が面接 該当するものすべてに○をつ		・指導による病院収入があ	りますか。 ₅₂
□ <u>患者の自己負担による</u> 材			
2 老人診療報酬の「退院時 3 その他の収入(具体的に			,
4 直接的には、まったくの)
→対象となる患者、額なと	具体的にご記入くだ	さい。	53
1			1 :

以下の点について、日頃お考えのことをできるだけご記入ください。 間31 社会保険診療報酬上で「訪問看護・指導料」や「退院時指導料」が点数化されたことに より、貴部署の業務内容や評価等になんらかの影響がありましたら、ご記入ください。	* この欄には記入 しないで下さい
問32 現在、面接による個別相談・指導を行なう上で感じている問題やこれからの課題をご記入ください。 * 貴部署の組織上の位置づけや人員構成について	56
*相談・指導の対象者、内容、質について	57
* 貴部署の看護職員の確保と育成について	58
* 医師等との連携について	59

問33 <u>医療機関の中に</u> 相談・指導担当部署が設けられていることは、患者・家族にとって どのようなメリットがあると思われますか。	* この欄には記入 しないで下さい。
問34 貴部署の存在は、病院運営・経営上どのようなメリットがあるとお考えですか。	61
問35 あなたは、地域医療における貴病院及び貴部署の役割をどのようにお考えですか。	62
問36 相談・指導等で患者・家族に関わる中で、保健・医療・福祉の問題点について感じていることがございましたらご記入ください。	63
	71 75 79
次のページには、全員ご記入ください。	

--- 106 ---

このページは、2月5日(月)~2月11日(日)の1週間の相談・指導件数についてご記入ください。

*患者・家族が一緒に相談・指導を受けた場合には、1件とします。

*同じ人が、1週間の間に2回以上の相談・指導を受けた場合にはそれぞれ1件とします。

(面接による個別相談・指導件数)

貴部署の看護職員が面接による個別相談・指導した件数の内訳を下表にご記入ください。 問37

				_	L			
(1) 患者の年齢別	件数	(2) 来所者別	件数	(3)	(3) 相談・指導の回数別 1	件数	(4) 受診状況別 件1	件数
1 歲未満		1 患者本人		-	初めてで終了予定		1 当院を初めて受診	
2 1歳~6歳未満		2 家族		2	2 初めてで継続予定		2 当院の一般外来に通院中	
3 6 歳~15歳未満		3 患者と家族一緒		က	3 2回目以上		3 当院の専門外来に通院中	
4 15歳~40歳未満		4 知人			ilen.		4 当院を退院後、通院していない	
5 40歲~65歲未満		5 4の街()					5 当院を退院予定(退院のめどがたっている)	
6 65歳~70歳未満		the		n			6 当院に入院中(5を除く)	
7 70歳以上				٦			7 当院の健(検)診受診(妊産婦検診、人間ドック)	
1 Inte		T					8 当院で受診していない	
T) T= W(1) (1)	# / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	÷	***				the.	
) コポンくの、でほ(の(ず)し(T)*	作しくの	してみのように一門へていいい。	。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•		-		

問38 上記件数の内、貴院の訪問看護の対象者になっている人の相談・指導件数は何件ですか。(訪問看護していない病院は空白のままにしておいて ください)

訪問看護対象者の相談・指導件数(再掲)

〈電話による相談・指導件数〉

貴部署の看護職員が行なった電話相談・指導の件数をご記入ください。 周39

1週間の電話相談件数

間にすでに院内研究等で発表なさったものがおありでしたら、どん 保健相談・指導活動の内容や効果等についてこの5年間ぐらいの なものでも結構ですのでコピーを同封していただければ幸いです。 [お願い]

ご協力ありがとうございました。